

普及現地情報



発信年月日：令和4年（2022年）11月1日

所属名：高島農産普及課

番号：H22006

部門分類：355 スマート農業

発信者名：中井

リモコン式自走型草刈機の導入により畦畔管理の省力化をめざす

(有)アグリ今津（経営耕地面積約 140ha）において、「スマート農業の全国展開に向けた導入支援事業」を活用してリモコン式の自走型草刈機が導入されました。(有)アグリ今津で管理する農地には中山間地の傾斜の大きい畦畔が多くあり、耕作面積の拡大に伴い畦畔除草作業が過重な労働となっており、この自走式草刈機の導入により労働軽減効果が期待されます。

導入したリモコン式自走草刈機の特徴は以下のとおりです。

- ・軽トラックで機械の輸送ができる（350kg以下）
- ・電気モーター駆動で静かにゆっくりトラックからの積み下ろしが可能
- ・草の状態にもよるが、歩行スピード～速足程度での作業が可能（刈幅 70cm）
- ・作業可能な傾斜角は最大 45 度まで（45 度で機械が感知して自動停止）

これまで水稻栽培期間に 1 回しか除草に入れない圃場がありましたが、作業時間を短縮することにより 2 回以上の草刈りを目指しておられます。

畦畔管理の労力負担の大きい中山間や高齢化により労力不足となっている地域ではスマート機械等の導入が求められています。普及活動を進めるうえで、農業推進担当と連携して積極的に推進したいと考えています。



積み下ろしは電動モーターで駆動



草刈り作業風景（傾斜角は約 30 度）